

令和2年7月20日

きよなん



第135号

議会だより

〒299-2192

千葉県安房郡鋸南町下佐久間 3458

TEL0470-55-4804

発行／鋸南町議会

編集／議会広報特別委員会

初夏の澄んだ空
山の中でひっそりと
大きな枇杷の実が
収穫を待っている

はやわかり

| | |
|-----------|----|
| 6月定例議会 | 2 |
| 補正予算の内容 | 3 |
| 4議員が町政を問う | 5 |
| 学校給食のいま | 10 |



1日間で開催 6月定例議会

コロナ・災害対策に質疑が集中

全12議案を全員賛成で可決

6月定例会は、会期を6月9日、1日間で開催した。今定例会には、規則改正や意見書提出に関する議員発議3件と町提出議案9件の合計12議案が上程され、1件の報告を受けた。町提出議案の内訳は、条例の一部改正5件と一般・国保・介護の3つの会計補正予算、工事請負契約1件で、審議の結果、全議案を全員賛成で可決した。また、一般質問では、大塚昇、早川正也、竹田和明、笹生あすかの4議員が質問席に立ったが、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、その現状と対策について質問が集中した。

議員発議

◆ 鋸南町議会会議規則の一部改正

6名の議員の発議により、標準的な議会会議規則に準拠するよう新たに8条を追加する改正を行った。

◆ 国における2021年度教育予算拡充に関する意見書

◆ 義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書

いずれも、4名の議員の発議により、教育関係団体から提出された義務教育に関する意見書の提出要望を採択した。内閣総理大臣ほか関係3大臣あて意見書を送付。

条例の一部改正

◆ 鋸南町税条例

◆ 鋸南町国民健康保険条例

◆ 鋸南町後期高齢者医療に関する条例

3条例ともに、新型コロナウイルス感染症対策の実施に関連して条例を改正した。

◆ 令和元年台風15号による災害被害者に対する町税等の減額又は免除の特例に関する条例

既に減額や免除の対象となつている者への特例適用を令和2年度も引き続き9月まで延長できるように条例を改正。

◆ 鋸南町介護保険条例

消費税引き上げに対する経済的支援として、1号（65歳以上）被保険者のうち低所得者区分に属する者の令和2年度の保険料の軽減を図るための改正。

契約

◆ 工事請負契約

海洋センター改修工事
東海建設(株)鋸南支店
5577万円

報告

◆ 令和元年度鋸南町水道事業会計予算繰越報告
配水管布設替工事2件
消火栓改修工事 2件

各会計の補正の状況

| 種別 | 補正前の額 | 補正額 | 補正後の額 |
|------------|-------------|------------|-------------|
| 一般会計 | 47億6110万6千円 | 2億5799万2千円 | 50億1909万8千円 |
| 国民健康保険特別会計 | 11億9708万8千円 | 370万円 | 12億78万8千円 |
| 介護保険特別会計 | 13億315万円 | 財源内訳の変更 | 13億315万円 |



11月改修を完了する海洋センター

一般会計 台風被害・コロナ対策など2億5千万円

令和2年度6月補正予算

国民健康保険・介護保険の2特別会計も補正

一般会計

歳入歳出それぞれに2億5799万2千円が追加され、総額を5億1909万8千円とした一般会計補正予算第2号。3議員からの質疑の後、討論はなく、採決の結果、全員賛成で可決した。

主な補正内容と予算に係る質疑は次のとおり。

議会費関係

平成17年から実施している議員報酬削減を、本年も5%削減を実施するとの3月定例会での議決を受けて、報酬、期末手当等226万9千円を減額した。

なお削減額は、教育関係事業の財源に充てられる。

総務費関係

地区集会施設等の台風災害復旧補助金1058万円で上佐久間中組の屋台修繕に250万円を助成。

民生費関係

復興ボランティアが行う

生活困窮者や高齢者世帯の屋根修繕等への補助金として161万2千円を計上。

低所得者の介護保険料率引き下げにより減じる保険料の補填として、1802万4千円を介護保険特別会計に繰り出す。また子育て応援給付金510万円は、学校休校の影響で増えた食費等に対する町独自の経済的支援として、町内在住の児童生徒1人につき1万円を保護者に支給するもの。

問 子育て応援給付金の給付方法は。

答 申請による受け付けをし、記載に誤りがなければ児童手当振込口座へ送金します。また別の口座を希望される方への対応も考えています。



復旧は現在も続いている

農林水産業 商工費関係

地域商品券発行事業補助金4153万9千円は、外出や営業自粛で低迷した消費活動の活性化のため、全町民へ町内限定の5千円の商品券を作成する鋸南町商工会に対する補助。

新型コロナウイルスにより大きな

影響を受けた農業・漁業・中小企業者に対する事業継続支援として、一律10万円を給付する、農業者等事業継続支援金1380万円、漁業者等事業継続支援金360万円、中小企業等事業継続支援金1810万円。

問 支援金の対象を、収入が50%以上減となった者としているが、その基準は。

答 国の持続化給付金への上乘せ補助であるため、国が定めた基準に準じました。

問 国会では、特に明確な根拠はないとの答弁があったが、町独自の支援であるからこそ、対象外となる者

も支援すべきではないか。
答 対象外の方については、



ハザードマップの確認を

消防費関係

国が経営維持、再建のための資金繰り支援等、別のメニューを用意していますので、それらの利用をお願いする考えです。

台風15号等の教訓や国県の防災計画を反映させ修正を行う、地域防災計画修正等業務を484万円で委託する。

問 地域防災計画の修正は、令和2年度、3年度で実施予定だが、1年間で実施すべきではないか。

答 千葉県地域防災計画は、今夏までに南海トラフ、来年3月までに台風に関する改訂を行うとのこと。



第1分団詰所に転用される南岸舎

町の計画にこれらを反映させる必要があり、また新規に加わる業務継続計画や見直される土砂災害区域のハザードマップの作製等の検討を行うためには、2年間が必要となるためです。

問 計画では、自主防災組織は、どのような位置づけとなるのか。

答 地域防災を担う組織なので、従来どおり組織の充足率を高めていき、組織自体の役割についても記載する必要があると考えます。

問 新地域防災計画の住民への配布を考えているのか。

答 津波と地震のハザードマップを見直し、土砂災害区域については新規作成し、住民に配布を予定します。

台風15号で第1分団第2分団詰所が被災。庁舎南側事務所を第1分団詰所として転用改修する工事費として3930万円、解体された第2分団詰所部分の改修工事費4235万円がそれぞれ計上された。

問 避難所として利用できないような改修を行うのか。

答 原形復旧が基本になります。避難所と団員の詰所の共有が可能かは今後の課題であり協議が必要です。

問 避難所となった場合を想定して、避難者が安心して避難できるような施設にすべきと考えるが。

答 第1分団の詰所については、強風対策として網入りの窓ガラスに交換するとともに、照明や空調設備等の変更も行います。また48畳の畳敷に改修しますので、避難所として受け入れは可能であると考えます。

避難施設が不足し対応できない場合は、開放することを念頭においた、対応も検討していきます。

1人に1台



教育費関係

全ての児童生徒にタブレット等の端末機器を整備するGIGAスクール環境整備事業費として、機器購入に3945万6千円、環境構築と保守のための委託料647万6千円を計上。

地方債（町の借金）

今回の補正後の、令和2年度末の残高は、54億8264万5千円となる見込み。

繰越明許費

年度内に完了できなかった事業は、翌年度に事業予算を繰り越して事業を継続することになる。令和2年度予算へは、災害等29事業、40億4043万円余りが繰り越された。

5月臨時議会

5月臨時会は、5月15日、会期を1日として開催した。臨時会には、町税条例の一部改正及び一般会計補正予算第1号に係る専決処分2件、固定資産評価審査委員会条例の一部改正1件、教育委員会委員1名の任命、固定資産評価審査委員会委員1名の選任、合わせて5議案が提出され、全議案とも全員賛成で可決した。

【一般会計補正予算（第1号）】

歳入歳出にそれぞれ7億6456万4千円を追加し、総額を47億6110万6千円とした。

補正額の内、大部分を占めるのが、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として、全国一律に1人10万円を給付する「特別定額給付金事業」

に係る事業費で、これに児童手当受給世帯を対象に児童1人1万円を給付する「子育て世帯への臨時特別給付金事業」の事業費が加わっている。

定額給付金事業については、給付金7億5430万円のほか臨時的職員の人件費、給付金の振込手数料、申請書の発送返信郵送料、支給対象者抽出及び申請書作成のための委託料など、合わせて7億5791万4千円が計上された。

一方、子育て世帯臨時特別給付金については、600人の対象児童を見込み、600万円の給付金のほかに口座振込手数料、給付の通知書及び受給拒否申請書の作成委託料などの事務費、合わせて665万円が計上された。

両給付金を早期に支給できるよう5月1日付けで専決処分された。

ここが聞きたい いっぱん質問



大塚 昇議員

- ・ 地域の高齢者福祉・介護の現状について
- ・ 防災避難所の復旧状況と備蓄品について



早川正也議員

- ・ コロナ対策、経済振興について

竹田和明議員

- ・ 「鋸南町総合計画」の課題認識について
- ・ 新型コロナ禍における今後の戦略について

4 議員が 町政を 問う！

笹生あすか議員

- ・ 自粛生活による住民への影響について
- ・ 鋸南町の学習環境整備について
- ・ 情報発信について



一般質問とは、議員が本会議場で町長・教育長に対し施政方針や事務の執行状況を聞き、疑問点をたずめるものです。紙面の都合上概要を掲載しています。



大塚 昇 議員

問

答

防災避難所の復旧状況と備蓄品は

順次改修を進め備品は再配備完了

問 昨年の台風被害、今般の新型コロナウイルスの影響により要支援・要介護高齢者数はどう推移し、その現状はどうか。

答 前後の平成30年度末と令和元年度末で比較すると、要支援者が4人、要介護者が13人増え、総数では17人増えました。一方、被保険者が65人減少したため、認定者率は20%と、1%弱増加しました。令和2年4月末では、要支援者が81人、要介護者639人で、前年同月とほぼ同数です。

意見 被保険者数は減少するのに対し、介護ニーズの

増加や変化が予想される。介護予防を含め、住民の介護サービスの要請に応じていくべきと考える。

問 保健福祉・介護保険事業計画では、介護ケアの向上のための、研修による介護職員の能力向上が謳われているが、町の研修制度・補助・基準の説明を求める。

答 平成30年4月から介護職員初任者研修、介護福祉士実務者研修受講者に対し、受講費の2分の1、初任者5万円、実務者10万円を上限に補助をしています。対象者は介護職に就労する町の住民で、他の補助

や町税に滞納がないなどの条件の全てに該当する方です。

問 補助の実績と予算額、募集人員が超過した場合の対応は。

答 平成30年度は各1件、令和元年度が、初任者1件、実務者3件でした。予算は3件ずつ45万円で、応募者が超過した場合は、予算を増額し対応します。

問 昨年の台風被害を受け、損害箇所への修復を行っているが、今年の大雨や台風シーズンに向けて避難所の復旧状況、防災備蓄品の保管状況は。

答 町の避難所9か所のうち、被害を受けた施設は4か所です。道の駅保田小学校は復旧済み。鋸南中が7月末に復旧予定。長寿命化修繕を併せて実施予定の海洋センターは11月中旬となる見込みで、旧佐久間小は解体されたため、老人福祉センターを代替え避難所としています。

備蓄品については、防災倉庫が倒壊した海洋センターでは、今後、施設内で備蓄することとし、各避難所、集会場の資機材については点検を行い、備蓄品の再配備が完了しています。

問 町では、台風災害の対応検証を行うとのことだが、進捗状況はどうか。

答 2月に実施した全職員対象の調査の結果を、5月から室長以上の職員で検証を行っています。報告書の作成は行いませんが、検証内容を地域防災計画、初動マニュアルの修正に反映させます。

要望 未曾有の災害・未知の感染症により、世の中が大きく変わろうとしている。日々油断なく、想定外などということが無いよう、有事に備え、万全の準備で、防災・減災を。



早川 正也
議員

問

避難所での感染症対策は万全か

答

施設 受入体制 資機材の充実を図る

避難所の感染症対策

問 災害時の避難所における感染症予防対策について問う。

答 避難者の健康確認、スタッフによる感染防止対策の徹底。避難所及び物品の衛生環境の確保、発熱した者の専用スペースの確保等、国に準じたクラスター対策を講じます。発電機の補充や扇風機、間仕切りテナントの追加補充、その他必要とされる防災備蓄品の追加調達を検討しています。

問 収容可能人数を超過した際の対応はどうか。

答 可能な限り多くの避難所を開設するための検討とともに、親戚友人宅への避難協力への周知をします。有事の際には、対応可能な対策を講じたうえで、避難者の人命を最優先とした対処をしますが、学校の教室等を更に開放し、全てを収容できるように努めます。

問 避難所で配布するマスク等の備えは万全か。

答 マスクは現在1万6千枚が準備されています。手指消毒液は6月末までに50本ほど購入予定です。また、その他防災資機材の充実調達を進めます。

問

避難所での感染症対策は万全か

答

施設 受入体制 資機材の充実を図る

観光振興対策

問 鋸山の日本遺産への登録はどうか。

答 昨年5月に富津市と協賛会を発足し、本年1月に文化庁に申請しました。6月中旬には結果が発表されます。(※結果は不採択)

問 延期となったオリンピックの開催に合わせ外国人観光客の来町が予想されるが、その対応は。

答 多言語の町パンフレットの配布、道の駅保田小案内所でのスマートフォン無料翻訳アプリの活用その他、県作成の翻訳紙を観光

協会に配布しています。今後、飲食店のメニューの外国語表記なども検討します。

問 佐久間ダムキャンプ場やバーベキューハウス佐久間小の受け入れ態勢と海水浴場を開設しない場合の観光客への対応方法は。

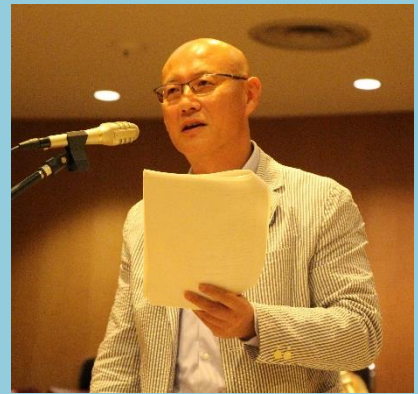
答 キャンプ場は、通常の14張を7張に減らして対処、バーベキューハウスは、平日1組10名、土日祝日は午前午後各1組10名を上限に予約を受け付けます。

海水浴場を開設しない場合、規制ができないため、お願いという形になります

が、看板等の設置をします。また路上駐車を防止するため、警察及び関係機関と対策を考えていきます。

問 7月に完成予定の都市交流施設周辺整備事業の基本計画だが、住民の意見を構想に反映させるためのタウンミーティングは、コロナ対策で中止となった。今後の実施の予定は。

答 タウンミーティング開催は断念し、基本計画作成後、ホームページ、庁舎窓口等で公表し、意見を募り計画に反映させます。事業参加対象者を集めて説明の機会も設ける予定です。



竹田 和明 議員

問

鋸南町総合計画の問題・課題を問う

答

指摘を次期計画に活かせるよう検討

鋸南町総合計画

現行の鋸南町総合計画（以下「現計画」）は、今年度終了し、来年度は新たな総合計画となる。その策定作業を前に、現計画の問題点、課題について問う。

問 現計画における重点課題が何なのかが明確になっているか。

答 現計画は、町の最上位に位置し、各種計画を網羅するため、包括的になっています。次期計画では、基本計画や各分野の計画の中で重点課題を明確にします。

問 P D C A サイクルを回す仕組みが整っているか。その中で特に計画の成否については、住民による客観的評価が必要ではないか。

答 具体的な数値目標を P D C A サイクルにより進行管理し、担当課へのヒアリングに基づき、達成状況の確認、評価をしています。

問 住民からの客観的評価を反映できる仕組みが十分整っていないので、対応を検討します。

答 役場職員の業務目標が町の重点課題を実現するものとして定められているか。また個人業績が反映される人事評価制度となっているか。

問 業務目標の設定は必ずしも町の重点課題に関連付けられておらず、個人業績は人事評価に十分反映されているとはいえません。成果主義による人事評価は、国からの要請でもあり、急ぎ整備します。

答 具体的な戦略はあるか。町独自の経済的支援策として、持続化給付金への上乗せ給付、全町民への5千円の商品券の配布、町内水道料金の基本料金3か月免除などを実施します。

問 雇用、教育、医療などの分野において ICT（情報通信技術）の活用が加速している。また同時に、東京一極集中から地方分散への流れもみられる。当町にとって好機でもあることから変化を捉えた戦略は。

答 ICT によるペーパーレス化、業務プロセスシステムの標準化や、AI、ロボティクスなどの導入について研究していきます。また地域分散トレンドに合わせ、当町の地の利の良さを生かした移住者の受け入れ、空き家利用の促進など、戦略の見直しを図ります。

新型コロナウイルス対策

台風被害からの復興もおぼつかない中、コロナによるさらに深刻な経済・雇用への影響が懸念される。その対応を問う。

問 新型コロナウイルスによる町内経済、雇用の立て直しへの



最終年度を迎えた現総合計画



笹生 あすか 議員

問

自粛経験を政策にどう活かすか

答

感染症予防に努め極力活動を実施

問 自粛生活で、町の障がい者や高齢者の生活への影響はどうか。

答 介護予防事業や老人クラブの活動等、感染症予防の観点から中止しました。引きこもりや運動不足の懸念がありました。民生児童委員、関係者の見守り等により、重大な影響は生じていないと思われま。

問 自粛に伴う経験を、今後の政策にどう活かすか。

答 感染症予防に努めながら、極力活動を実施します。マスクの着用、手指消毒室内換気を心がけ、人数を制限する代わりに複数回開催

する等の検討もします。

問 児童虐待予防対策の観点から、休校や休園で子ども見守りが困難な状態だが、どのような対応をしているか。また、情報交換の方法や内容が変わったことはあるか。

答 小学校、幼稚園では教員教諭による家庭訪問や、保護者の定期的な来校来園を依頼し、中学校では定期的に登校日を設け、子どもたちの家庭での様子を確認しました。

実務者会議を偶数月に開催し、その場で情報交換を行っているのですが、4月は中

止し、電話等で情報を共有しました。6月からは会議を再開しました。

問 鋸南町の学習環境整備について、長期休校で学習の詰め込みを心配する声があるが、支援体制はどうか。

答 年間指導計画を見直し、夏休み等の短縮により、休校の遅れを取り戻すことで、文科省が定める基本学習時間はクリアできる予定ですが、自然災害等も念頭

におき進めていきます。

問 オンライン学習環境の現状はどうか。

答 1人1台端末によるICT(情報通信技術)環境の

整備を前倒しして、整備予算を本定例会に上程しました。来年1月からの運用を予定しています。

問 インターネット環境がない児童生徒の通信手段の確保が課題とあるがどのような対策を検討しているか。

答 町でポケットwifiを借り上げて、必要な家庭に貸し出しの検討をしています。

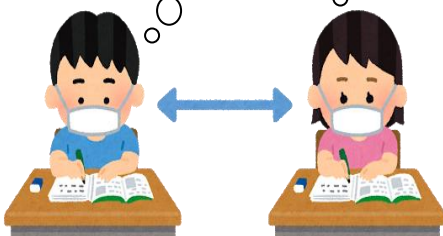
問 町ホームページやツイッター担当職員は何か。

答 1名で行っています。今後、総務企画課の企画財政室の中で、複数で対

応していくように検討しています。

要望 複数の職員が情報発信に関わることで創意工夫も生まれるであろうし、災害時に備えて平時からツイッターの特性を活かした情報発信をして欲しい。

いつまで
続くかな？



ご存知でしたか!!

本から飛び出すおいしい給食

7月2日に中央公民館において鋸南町学校給食センター運営委員会が開催され、学校給食の実績や実施計画についての討議を行いました。

委員は8名で、うち1名は議会から選出されています。

センターの運営に関しては、4つの重点項目が定められています。「衛生管理の徹底」ということで、アレルギー対応、食中毒防止のための対応のほか、新型コロナウイルス感染予防対策が講じられています。

また「食育」に関するユニークな取り組みの1つが、「本から飛び出すおいしい給食」という企画です。読書週間にあわせ、本の物語に登場した料理を紹介しつつ、献立としています。

学校給食センター運営の重点項目

1. 衛生管理の徹底による事故防止
2. 食育の推進と地域・家庭との連携
3. 給食用食材の安全・安心の確保
4. 米飯給食・地産地消の推進

R1. 11. 1 「千と千尋の神隠し」



10月27日から11月9日の文化の日をはさんで前後2週間が全国読書週間です。それにちなんで、今年も本から飛び出した美味しい料理を給食で真似してみました。初日は中学校1年生からのリクエスト『千と千尋の神隠し』からショウロンポウです。物語は、10歳の少女千尋が、引っ越し先へ向かう途中に立ち寄ったトンネルから神々の世界へ迷い込んでしまうところから始まります。無事に人間の世界に帰れるのか・・・続きはお話を読んでみてくださいね。今日の給食は、千尋のお父さんがとても美味しそうにほお張る料理に似ているショウロンポウです。

議会の日誌

5月11日 議会運営委員会
5月15日 第3回議会臨時会
議員全員協議会
議員総会
5月26日 議員全員協議会

6月 2日 議会運営委員会
議員総会
6月 9日 第4回議会定例会
6月30日 議会広報特別委員会

編集後記

町民の皆様におかれましては、昨年の台風被害に続く今回の新型コロナウイルス禍、心よりお見舞い申し上げます。

また、当町から未だ新型コロナウイルスの感染者が出ていないということは、町民の皆様の忍耐とご協力の成果だと感謝申し上げます。

今回のコロナ禍による町の経済への影響は甚大で、客数、売上への影響は甚大で、全国的に被用者の解雇や賃金不払いといった雇用不安も起きています。感染予防と経済対策を同時に行い、さらに次の災害にも備えなければなりません。

令和3年から新しい町の総合計画がスタートします。コロナによる地方への移住やデジタル化の流れもあるようです。トレンドを捉えた確かな戦略を立て、計画を着実に実行していくことこそ復興への第一歩です。議会もその強力な支えとなるよう努めてまいります。

竹田 和明